

NPOの資金調達 まるわかりセミナー

【報告書】

日時：平成29年（2017）10月14日（土）10：00～16：30
場所：大阪産業創造館 5F 研修室A・B・C
主催：特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団
協力：社会福祉法人 大阪ボランティア協会
後援：大阪府、大阪市

目 次

目 次.....	1
開 催 概 要.....	2
プ ロ グ ラ ム.....	3
活動の効果と課題.....	4
参加者基礎情報・アンケート集計結果.....	7
セミナーの様子.....	14
第 1 部 新しい流れと書き方講座.....	14
第 2 部 環境市民活動助成金セミナー.....	15
第 3 部 個別質問会.....	16

開催概要

趣 旨

地域課題に取り組む活動団体の多くが、新たな事業に取り組もうと考えるとき、今ある活動をさらにステップアップしたいと考えるとき、越えなければならない多くの課題に直面します。

団体の立つステージにより「人的支援」、「物資の提供」、「組織マネジメント」「社会的信頼」と必要とするものは様々です。とりわけ、事業が社会化するまでの過程で「資金調達」が不可欠となります。

一般に、NPO法人の資金源は「会費」「寄付金」「助成・補助金」「自主事業収入」「借入金」と企業と比較して実に多様です。また、資金源の各々には特徴があり、いかにそれを組み合わせ持続可能な経営に取り組むかについては、個々の団体の成熟度や目的によっても大きく異なります。

そこで、第1部では多様な「資金調達法」の新しい潮流の紹介、第2部では「助成金申請」に焦点を絞って、自団体にあった「資金調達計画」を立案いただくことをめざします。

目 的

- 1、多様な「資金調達法」についての最新情報を得て理解を深める。
- 2、「助成金の活用事例」から、助成財団と協働の進め方を学ぶ
- 3、持続経営のために、個々の団体に適した「資金調達法」を見出す機会とする。

内 容

- 第1部 新しい流れと書き方講座 資金調達の新しい流れ / 申請書の書き方講座
- 第2部 助成制度活用事例紹介～採択団体と助成財団の2つの視点から～
- 第3部 各助成団体との個別相談（11団体）

開催概要

日 時： 2017年10月14日（土）10：00～16：30
場 所： 大阪産業創造館（大阪府大阪市）研修室 A・B・C
対 象： 助成金活用で活動をステップアップしようと考えておられる団体
参 加 費： 一日参加 一般1000円 、エコネット近畿会員 500円
実 績： 57名（目標 50名）
主 催： NPO法人エコネット近畿、一般財団法人セブン-イレブン記念財団
後 援： 大阪府、大阪市

第13回 環境市民活動助成金セミナー
NPOの資金調達まるわかりセミナー
 プログラム

Time	内 容
10:00	開会、主催者あいさつ (研修室AB/C) ◇一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 地域活動支援事業マネージャー 小野 弘人氏 ◇特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター 副理事長 新田 章伸氏
10:05	第1部 新しい流れと書き方講座 (いずれか選択)
	●資金調達の新しい流れ (研修室AB) ◇「資金調達総論」 准認定ファンドレイザー 正阿彌 崇子氏 ◇「クラウドファンディング」 株式会社 CAMPFIRE 事業開発部 村田 アルマ氏 ◇「遺贈寄付」 全国レガシーギフト協会 理事/税理士 江波 千佳氏 ◇「プロボノによるNPO支援」 認定NPO法人 サービスgrant 堀 久仁子氏 ●初めての助成金申請書の書き方講座 (研修室C) ◇一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 小野 弘人氏 ◇大阪府 環境農林水産部 エネルギー政策課 馬場 恵子氏
12:00	<お昼休憩> 研修室AB 飲食可
13:00	第2部 環境市民活動助成金セミナー (研修室AB)
	●事例発表 助成財団×採択団体 事例1 ◇一般財団法人 セブン-イレブン記念財団 『2018年度 環境市民活動助成』 小野 弘人氏 ◇NPO法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター 岩井 克己氏 事例2 ◇認定NPO法人 瀬戸内オリーブ基金 『スタートアップ助成』 事務局 伴場 一昭氏 ◇NPO法人 ひとつもりデザイン研究所 増永 滋生氏 ●助成制度紹介 ◇独立行政法人 環境再生保全機構 『地球環境基金』 地球環境基金部 地球環境基金課 國松 志帆氏 ◇公益財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会 『助成事業』 企画事業第一課 田原迫 琴子氏 ◇公益財団法人 損保ジャパン日本興亜環境財団 『環境保全プロジェクト助成』 事務局長 佐藤 孝治氏 ◇積水ハウス 株式会社 『積水ハウスマッチングプログラム』 コーポレート・コミュニケーション部 信田 由加里氏 ◇トヨタ自動車 株式会社 『トヨタ環境活動助成プログラム』 トヨタ環境活動助成プログラム事務局 兼岩 悦子氏 ◇阪急阪神ホールディングス 株式会社 『阪急阪神未来のゆめ・まち基金 助成プロジェクト』 総務部 課長 (社会貢献担当) 相良 有希子氏 ◇大阪府 『府民共同発電補助事業』 『大阪府環境保全活動補助金』 環境農林水産部エネルギー政策課 馬場 恵子氏
14:40	<休憩>
15:10	第3部 個別質問会 (研修室AB)
16:30	個別質問シートに要点をまとめ各財団前にお並びください。 後方でお待ちの参加者へのご配慮をお願いします。 アンケート記入、閉会

活動成果と課題

●6つの目標と評価方法・達成度

- ①参加者目標数の達成 目標数 50人 → 達成 57人
- ②新規会員獲得数の達成 目標数 5団体・人 → 6団体・人
- ③参加者満足度の測定 アンケートでの10点満点評価 → 昨年と同水準
- ④参加団体の助成申請率 ヒアリング、アンケート、助成財団ホームページでの確認で今後集計
- ⑤相談件数の増加 個別相談の統計 → 6件（採択団体2団体）
- ⑥補助金・交付金の情報提供 ホームページでの情報掲載

●申請事業の告知方法と回数

- ・環境イベントサイトへの記事掲載：20サイト以上
今回、EPO四国への情報掲載、チラシ配架により香川から参加があった。
- ・情報掲載誌への投稿：1回
- ・チラシの配架依頼：近畿県内のNPOセンター、貸会議室のある施設など 70か所
- ・DMによるチラシの配布：1700件（他団体の協力を含む）
- ・メールニュースの配信：
エコネット近畿 メールニュース vol.171～vol.180（8月8日～10月11日）8回
セブン-イレブン記念財団 環境情報 4回
大阪ボランティア協会 メールニュース 1回
大阪府 メールニュース 1回
- ・フェイスブックへの投稿：イベントページへの投稿 12回
- ・ホームページへの情報掲載：2016年12月より年間スケジュールとして掲載開始。

●ホームページのトップページ／申請事業 プレビュー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
TOPページ	316	259	259	196	322	236	288	1,876
申請事業	13	45	48	30	246	172	189	743

- ・セブン-イレブン記念財団 助成金セミナーページからのアクセス数 37（2017/6～10月）
- ・セブン-イレブン記念財団 環境情報メールが配信された日は、トップページアクセスが増加。

●申請事業に対する他の環境NPOからの問い合わせ

- ・他団体から「書き方講座」開催の問い合わせ、講師照会 1件
- ・他団体から「集客方法」についての問い合わせ 2件
- ・助成財団から同時期の募集制度についての広報依頼 3件

活動成果と課題

●背景

最近の3年間における「助成金セミナー」への参加者数の低迷の原因について、次のような仮定をたてました。

- 1、「助成金セミナー」には、異なる成長ステップ・規模の団体が参加されるため、プログラムの構成で対象者設定があいまい。または、対象者設定が狭く、結果参加数が減少している。
- 2、各助成制度情報は、インターネット上で収集できるとの判断で、団体の秋のイベントを優先し会場に出向かれないのではないか。
- 3、既存の助成制度と団体のニーズのミスマッチがおこっているのではないか。

一方で、参加団体は、何をメリットに感じておられるかについても整理しました。

- 1、応募要項やWEBでは、知ることのできなかった情報を得ることができる。
- 2、一日で、いろいろな助成制度を比較検討することができる。
- 3、直接、助成財団の担当者に質問し回答を得られる。

また、助成財団のみなさまからいただいたご意見についても見直しました。

- 1、申請される団体の固定化・高齢化が顕著になりつつある。
- 2、申請に際して、どのようなことがハードルとなっているのかが知りたい。

●事業成果

一日で NPOの資金調達のすべてを網羅

これらを念頭におき、助成制度だけではなく、ほかの資金調達法についても同時に紹介することで、新規顧客や、制度説明は十分と感じておられる団体の参加を図りました。

また、繁忙期ではあるものの、敢えて一日で知りたいことを網羅できるよう時間を拡大し、それぞれの団体のニーズにあわせて講座を選択できるように、プログラムをデザインしました。

参加者目標達成 57人（前年比300%）満足度高水準で維持

結果、昨年とくらべ参加者が3倍となったほか、内84%が新規顧客であり、また申請経験のない団体と、申請・採択経験のある団体がやく半数ずつを占め、「異なる成長ステップ・申請経験」の団体が、1日のセミナーに共存し、これまでと同水準の満足度を維持することができました。

助成制度も含め多様な資金調達からどれを選択すべきかという判断基準となる基礎情報を一日で網羅でき、助成制度もバラエティに富んでいたことから、WEBや応募要項だけでは知れない情報の獲得へのニーズを拾うことができたのではないかと考えられます。

新規顧客率 84% 助成財団とNPOの新たな出会いの場に

さらに、「申請書の書き方講座」への参加も多かったことから、仮定とは異なり「助成金制度」への関心や期待も高く、申請を目指す新規顧客の存在もわかり、同時に、助成財団とNPOの新たな出会いの場を提供することへとつながりました。

活動成果と課題

波及効果!? 近畿各地で「資金調達セミナー」開催の広がり

終了後には、中間支援組織から同様の講座開催を希望する依頼もあり、昨年度から急速に同様のセミナー開催が各地で広がっていることは、この3年間、各地域の中間支援組織や、行政との協働による「助成金セミナー」の開催とそれを補完する形で開催してきた「初めての申請書の書き方講座」や「環境NPOスキルアップセミナー」「水とみどりの環境活動のための助成金セミナー」などの講座の積み上げの波及効果と考えられます。

次年度にむけ NPO視点のセミナーから助成財団との関係づくりへ

次年度は、同じ形式・プログラムを継続して実施し、今年度の結果と仮定を検証すると同時に、助成財団から、他の団体の制度を知れてよかったという声を反映して、今回は助成財団同士の交流の場へと広げていくことで、既存の助成制度の最適化へとつなげたいと考えています。

最終的に、これらの財団の制度を活用したNPOの採択事業の成果向上と波及効果が導かれることがゴールです。

●課題

① 参加者の変容の測定、測定方法

多くのNPOの支援として、組織基盤の強化につながったかどうか、その成果を測定する。具体的には、

- 助成申請経験のない団体で、申請を希望する団体が、セミナー後に実際に申請されたか。
- 申請された団体は、このセミナーに参加した結果採択されたか。
- 今回紹介のあった資金調達法について、アクションをおこされた団体はおられるか。

測定方法については、ヒアリング、アンケート、ホームページでの確認などが候補。

② 助成財団との関係性の深化

過去3年間と今年度は、参加者であるNPOの視点で事業プログラムを企画してきた。

これからは、さらに、助成財団と関係性を深めることが次につながるということがわかったので、関係性の深め方・つなげ方が課題です。

参加者基礎情報

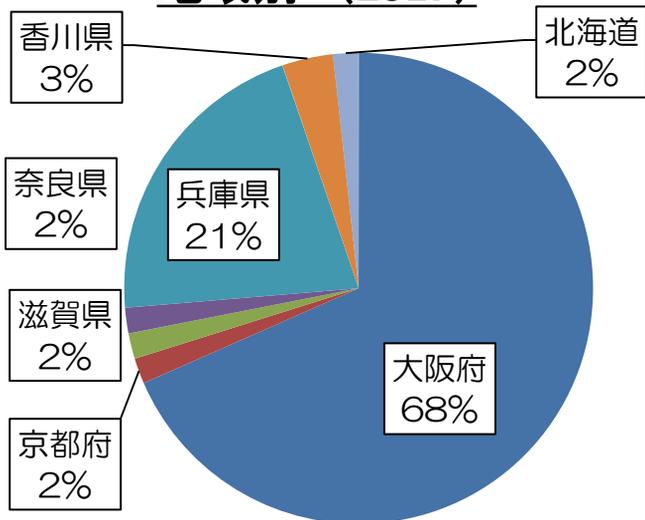
1. 参加者数 参加者数 57名

2017年 参加者（地域別） n=57		
大阪府	39人	68%
京都府	1人	2%
滋賀県	1人	2%
奈良県	1人	2%
兵庫県	12人	21%
香川県	2人	4%
北海道	1人	2%
合計	57人	100%

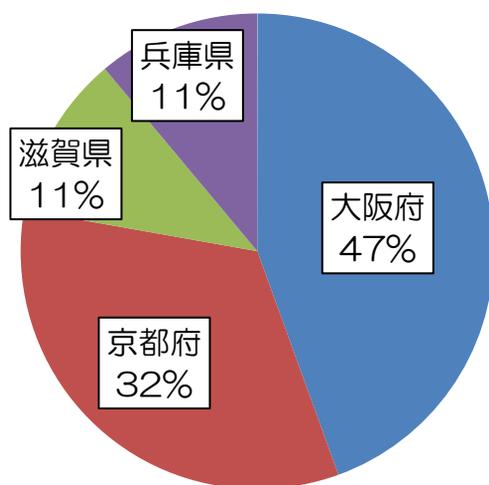
2016年 参加者（地域別） n=19		
大阪府	9人	47%
京都府	6人	32%
滋賀県	2人	11%
兵庫県	2人	11%
合計	19人	100%

開催地の参加者が多い傾向は、例年通りだが大阪開催の場合、京都、滋賀、奈良など近畿の他府県からの参加が少なくなる傾向にある。一方で、交通の便の良さから近畿圏外からの参加者が見受けられた。

地域別（2017）



地域別（2016）



2. 新規参加者率 （過去5年間に助成金セミナーに参加されたことがない方÷参加人数）

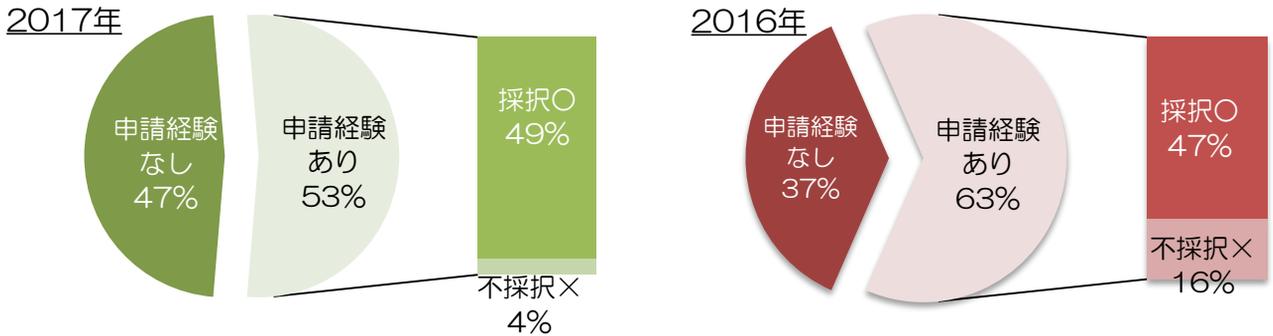
2017年 新規参加者率 n=27		
リピーター	9人	16%
新規	48人	84%
合計	57人	100%

2016年 新規参加者率 n=19		
リピーター	5人	28%
新規	14人	72%
合計	19人	100%

顧客の固定化が課題であったが、今回は8割を超える新規参加者があり、課題の1つをクリアできた。一方、セミナー情報を得た入手方法として「紹介」が大きく伸びており、過去に参加された方からの口コミとも考えられる。

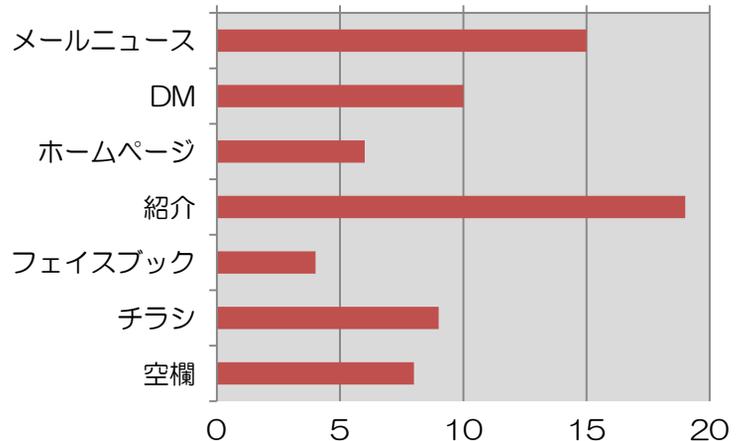
参加者基礎情報

3. 助成申請・採択経験の有無

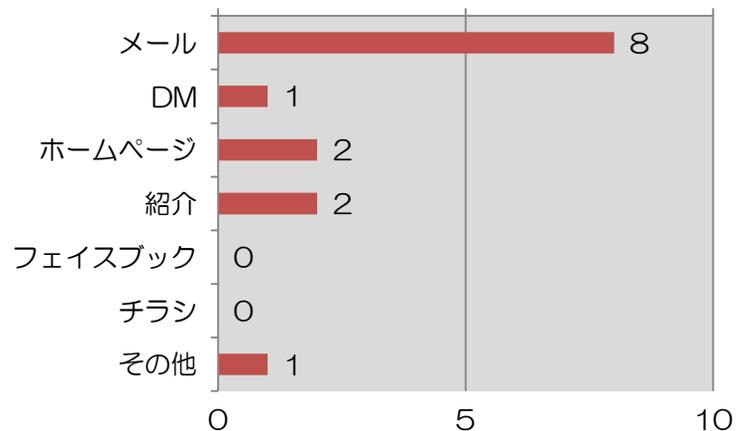


4. セミナーの情報の入手方法 (上の段 2017年、下の段 2016年)

2017年	
メールニュース	8
DM	9
ホームページ	4
紹介	19
フェイスブック	6
チラシ	10
空欄	15
合計	71件



2016年	
メールニュース	1
DM	0
ホームページ	0
紹介	2
フェイスブック	2
チラシ	1
その他	8
合計	14件



メールニュース：エコネット近畿、セブン-イレブン記念財団、大阪ボランティア協会、大阪府、里山倶楽部、環境市民、理事所属団体でのMLほか。

D M：エコネット近畿、大阪自然環境保全協会、大阪府さとり協議会ほか。

紹介：今回特に数字が伸びた。

チラシ：新規配架場所の開拓、理事所属団体での配布協力。

参加者基礎情報

5. セミナー参加の申込み方法

2017年 申込方法（重複有）	
電話	8
申込フォーム	29
メール	10
FAX	16
来所	4
空欄	3
合計	70件

2016年 申込方法	
電話	3
申込フォーム	実施なし
メール	10
FAX	4
来所	1
空欄	1
合計	19件

今回より申込方法に「申込フォーム」を導入。申込フォームのURLにリンクしたQRコードをチラシに印刷した結果参加者の半数近くが「申込フォーム」を利用。この結果、事前に第1部の参加者数を把握したり、基礎情報を整理することができたほか、受付完了メールの自動配信など事務の効率化につながった。参加者の利便性の面からも、今後他のセミナーにも「申込フォーム」を導入していく。

6. 参加者の申請実績（上の段 2017年、下の段 2016年）

2017年 助成申請をしたことがありますか？（n=57）		
申請・採択経験あり。	27	47.4%
申請したことがあるが、採択経験はない。	3	5.2%
申請したことがない。	27	47.4%
合計	57人	100%

2016年 助成申請をしたことがありますか？（n=19 不明1）		
申請・採択経験あり。	11	61%
申請したことがあるが、採択経験はない。	1	6%
申請したことがない。	6	33%
合計	18人	100%

昨年よりも申請経験のない顧客の割合が多く、助成財団とNPOの新規のマッチングの場となったことがうかがえる。

参加者基礎情報

Q1. 今回の助成金セミナーの満足度（10点満点）とその理由を教えてください。回収数： 32

①全体を通しての満足度。 () 点 / 10点満点中 回答数：32名
 「10点」・・・7名、「9点」・・・5名、「8点」・・・10名、「7点」・・・5名
 「6点」・・・1名、「5点」・・・3名、
 記載なし・・・1名

全体の満足度	2017年		2016年	
10～9点	12人	39%	4人	40%
8～7点	15人	48%	6人	60%
6～5点	4人	13%		
	n=32 記載なし1		n=19 記載なし9	

その理由？

「10点」・・・7名、「9点」・・・5名
 ・必要な情報、気づいていない情報が得られた。
 ・時間配分と内容が完結でとても有意義だった。
 ・助成財団の助成に対する考え方がわかった。
 ・大阪だけの話が-1だった。

「8点」・・・10名、「7点」・・・5名

- ・資金調達の方法には種々あって、我々が考え又これまでにいただいている資料以外にも多くの方法があることが分かった。また種々の例を挙げて説明してくれたのが良かった。
- ・助成財団が一同に会して説明が聞けたのは、大変良かった。
- ・各助成金制度の特徴などが聞いて参考になった。民間の助成制度については、なぜその企業、団体がその助成制度を立ち上げることとなったのか、審査員はどなたなのかを明らかにして欲しかった。
- ・はじめて聞く言葉もあり、難しいところもあった。

「6点」・・・1名、「5点」・・・3名

- ・検討段階だから。
- ・3日間位のボリュームを一日でやるのは無理。分けて3日間ぐらいで開催できないか？

②第1部 新しい流れと書き方講座で参加したセミナーは？ 回答数：32名
 「資金調達の新しい流れ」・・・16名、「初めての助成金申請書の書き方講座」・・・15名
 記載なし・・・1名

「資金調達の新しい流れ」の参加しての満足度 回答数：16名
 「10点」・・・5名、「9点」・・・3名、「8点」・・・3名、「7点」・・・3名
 「5点」・・・2名

その理由？

「10点」・・・5名、「9点」・・・3名
 ・一度にいろいろな資金調達のいろんな手法を知れたのは良かった。

「8点」・・・3名、「7点」・・・3名

- ・「そんな方法もあるのか」と新しい知識を得られた。
- ・遺贈寄付について、新しい情報であったが、寄付対象者の見つけ方、またアプローチ方法が理解できなかった。

「5点」・・・2名

- ・小さな任意団体なので、大きな資金は必要としていないので、身近に感じなかった。
- ・時間が足りなかった。

資金調達の満足度		
10～9点	8人	50%
8～7点	6人	38%
6～5点	2人	13%
n=16		

アンケート集計結果

Q1. 今回の助成金セミナーの満足度（10点満点）とその理由を教えてください。回収数： 32名

「初めての助成金申請書の書き方講座」に参加しての満足度 回答数：15名
 「10点」・・・6名、「9点」・・・3名、「8点」・・・2名、「7点」・・・2名
 「5点」・・・1名、記載なし・・・1名

その理由？

「10点」・・・6名、「9点」・・・3名

- ・講座の中でワークの時間があり、他の参加者とも意見交換ができたのでよかった。
- ・形式的なところだけでなく、想いの部分の大切さを知ることができた。
- ・助成する側の見方が聞いて良かった。大変すばらしい内容だった。
 （良い意味で期待を裏切られた素晴らしさ）
- ・申請ポイントがよくわかった。

「8点」・・・2名、「7点」・・・2名

- ・質問時間が欲しかった。
- ・よくわかった。

「5点」・・・1名

- ・ワークショップ、意見交換の時間が短かった。

書き方講座の満足度

10～9点	9人	64%
8～7点	4人	29%
6～5点	1人	7%
n=15		記載なし1

③第2部 環境市民活動助成金セミナーの満足度。 回答数：32名

「10点」・・・8名、「9点」・・・3名、「8点」・・・9名、「7点」・・・5名
 「6点」・・・1名、「5点」・・・2名、記載なし・・・4名

その理由？

「10点」・・・8名、「9点」・・・3名

- ・いろんな制度を簡潔に理解できた。
- ・すべてがわかりやすかった。資料そろえも満足。
- ・審査のポイントがためになった。
- ・数多くの団体の話が聞けた。

「8点」・・・9名、「7点」・・・5名

- ・メニューが多すぎる。過密プログラム。
- ・主要な支援団体を呼んでいただき、直接話せた。
- ・パワーポイントがいずれも判読しにくい。
- ・団体が多いためわかりにくい。

「6点」・・・1名、「5点」・・・2名

- ・募集する方と応募する方の両方ができたのはよかったが、もう少し接点が欲しかった。
- ・検討中。

助成制度説明の満足度

10～9点	11人	39%
8～7点	14人	50%
6～5点	3人	11%
n=32		記載なし4

アンケート集計結果

Q1. 今回の助成金セミナーの満足度（10点満点）とその理由を教えてください。回収数：32名

③第3部 個別質問会の満足度。 回答数：32名

「10点」・・・6名、「9点」・・・1名、「8点」・・・4名、「7点」・・・1名、
「5点」・・・1名、記載なし・・・19名

その理由？

「10点」・・・6名、「9点」・・・1名

- ・お話を聞いた助成財団から詳しい説明を受けました。

「8点」・・・4名、「7点」・・・1名

- ・人とのつながりができた。
- ・担当の方と直接お話しできたのがよかったです。
- ・時間がすくなかった。

「5点」・・・1名

- ・検討中。

個別質問会の満足度

10～9点	7人	54%
8～7点	5人	38%
6～5点	1人	8%
n=32 記載なし19		

Q2. 助成金申請をしたい助成財団が見つかりましたか？ 回答数：32名

「YES」・・・18名、「NO」・・・7名、記載なし・・・7名

申請を考える際に重視するポイントをあげてください。（ex.助成金額、対象経費の費目）

「YES」・・・18名

- ・通るためのシナリオがあうか。
- ・活動が対象かどうか。
- ・前払いで使途自由。（立ち上げ間もない団体のため、資金不足）
- ・金額、対象経費の範囲。
- ・支援団体との想いのマッチング。
- ・人件費も対象になっていること。
- ・各団体がどのような経緯でどのような思想をもって助成制度を立ち上げ運営しているか。

「NO」・・・7名

- ・金額、対象経費の範囲。
- ・少し活動実績が足りない。

記載なし・・・7名

- ・中間組織として参加しており、環境だけでなく全分野を対象としているので、特に申請しない。

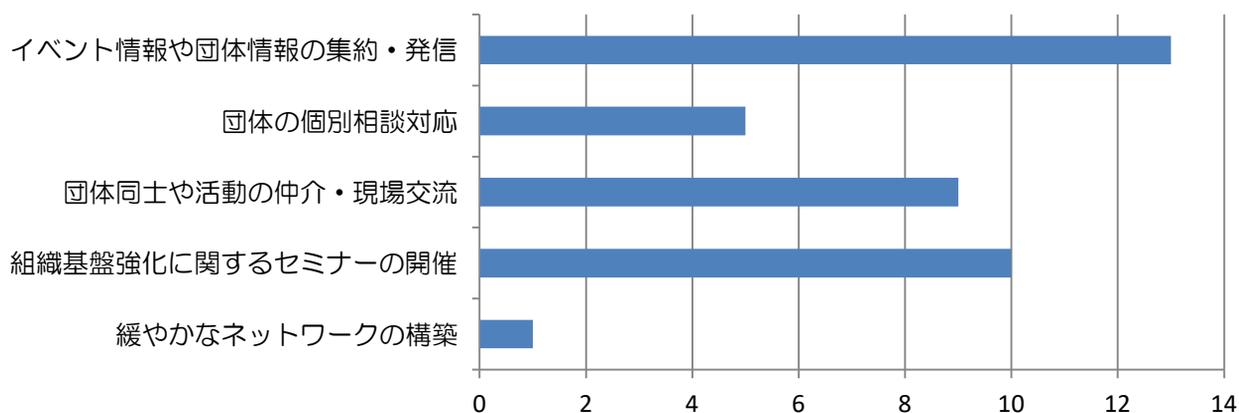
Q3. 今後の助成金セミナーにご意見・ご要望などお書きください。

- ・新しい助成制度のその後について知りたい。
- ・パネルセッション的なやり方も良いのでは。
- ・参考になりました。今後活動団体サポートに活かしたいと考えている。
- ・寄付金を募集するためのコツを教えてください。
- ・法人化の方法についてのセミナー。
- ・審査の過程と審査者を明らかにしてほしい。
- ・助成申請での成功例、失敗例を具体的に聞きたい。
- ・助成団体一覧は大変ありがたい。できれば使途についても載せてほしい。
- ・毎年開催してほしい。

アンケート集計結果

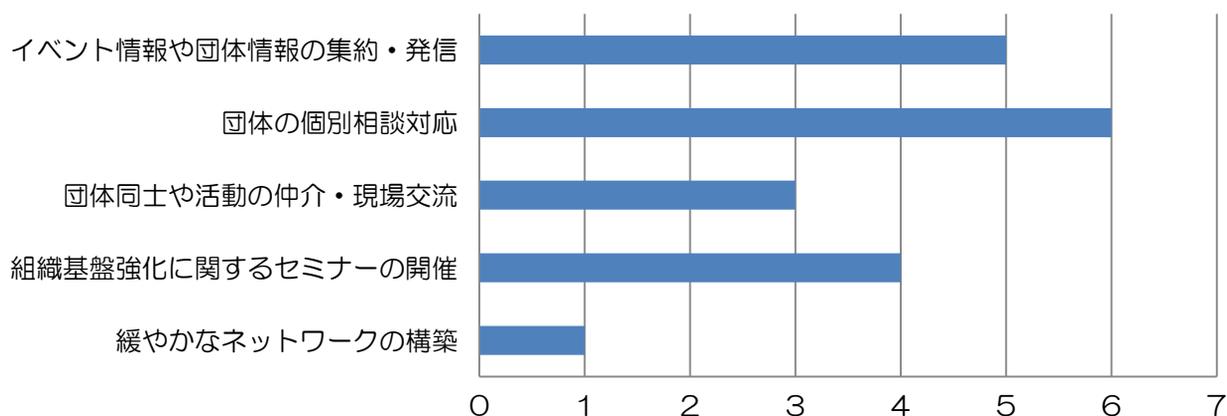
Q4. 今後のエコネット近畿に期待することをおしえてください。

2017年



- 活動の活性化をはかるための工夫などを知りたい。
- NPO法人の広報活動の効果的な手法について。
- 労働者不足、社会全体ボランティアスタッフの不足下での人材の確保。
- 高齢者の社会的ニーズの高まり。

2016年



助成金セミナー終了後のアンケートでは、「イベント情報や団体情報の発信」「組織基盤強化に関するセミナー（助成金セミナーなど）」の2つに期待が集中する傾向があるが、昨年度と比較して、特にそのバランスが大きく変化する様子は見られなかった。

第1部

新しい流れと書き方講座

●資金調達の新しい流れ

「団体の思い」や活動の「社会的価値」に共感して、資金提供してくださる支援者とつながるには。認知度が高まりつつある新たな資金調達方法の最新情報を網羅して提供。



「資金調達総論」
准認定ファンドレイザー
正阿彌崇子氏



「クラウドファンディング」
株式会社 CAMPFIRE
村田 アルマ氏



「遺贈寄付」
全国レガシーギフト協会
理事/税理士 江波 千佳氏



「プロボノによるNPO支援」
認定NPO法人 サービスグラント
堀 久仁子氏

最初に、資金調達の総論として、NPOの財源と特徴や経済産業研究所の統計から見る一般的なNPOの財源バランスについておさらいをした後、主に寄付を中心としたさまざまな既存の資金調達法（マンスリーサポート、寄付つき商品、香典寄付、記念日寄付、もったいない寄付）のほか、現在準備が進んでいる休眠預金や「融資」について具体的な事例をまじえて紹介いただきました。

次に、近年多くの関心が集まり急速に認知度を高めている「クラウドファンディング」「遺贈寄付」「プロボノ」の3つの資金調達法についての専門家、担当者をお招きして概要をうかがいました。

第1部

新しい流れと書き方講座

●初めての助成金申請書の書き方講座

これから助成金申請に取り組もうと思っている方や、助成金申請に関心のある方に向けて、テクニックに頼らない「申請書の書き方」と「実務」の情報提供。



「助成金とは？」
セブン-イレブン記念財団
小野 弘人氏



「事務・会計処理の注意点」
大阪府環境農林水産部
馬場 恵子氏



「申請書の書き方ワーク」
参加者同士の意見交換



初めての申請書の書き方講座
会場の様子

助成財団の担当者から、直接申請に関わる重要ポイントを聞く機会とあって、申請・採択経験のある方や、中間支援組織でNPO支援に関わるスタッフも参加されました。

最初に、セブン-イレブン記念財団 小野氏より、NPOの資金についておさらいしていただきました。次に、ドイツのファンドレイジング協会や環境団体、日本のNPOの事例を挙げながら、多くの助成財団が「助成金で団体を支援する意味」、またNPOが「助成金を申請する際に期待されていること」について、丁寧にお話しいただきました。

さらに、大阪府環境農林水産部エネルギー政策課 馬場様からは、助成申請での「事務・経理処理」の落とし穴を詳細なチェックリストにいただき、実務に即役立つお話をいただきました。

また、「簡易申請書を短時間でしあげ、プレゼンをし、投票をする」など、本番さながらのワークは、他団体との意見交換の場ともなりました。

第2部

環境市民活動助成金セミナー

- 事例発表 助成採択団体×助成財団担当者 2団体×15分
助成財団による制度説明 9団体×7分

9団体の助成団体担当者による制度説明と助成を採択した2団体の活用事例発表。説明では、対象となる団体や経費はもちろんのこと、今年度大きく制度が変わった点や申請の際に重要となるポイント、審査基準、応募要項ではわからない、または気づかない点についても丁寧にお話いただきました。



第2部 環境市民活動助成金セミナー 会場の様子



瀬戸内オリーブ基金
伴場 一昭氏



積水ハウス株式会社
信田 由加里氏



トヨタ自動車株式会社
兼岩 悦子氏



損保ジャパン日本興亜環境財団
佐藤 孝治氏

第3部 個別質問会

11の助成財団が参加。申請したい事業のある団体は、事前に配布した「個別質問会 事前準備シート」に事業概要を記載し、団体資料を持参して質問されました。複数の助成財団ブースをまわり、約1時間半の質問時間も足りないと感じられた方もおられました。



株式会社CAMPFIRE



サービスグラント



セブン-イレブン記念財団



瀬戸内オリーブ基金



環境再生保全機構



国際花と緑の博覧会記念協会



損保ジャパン日本興亜環境財団



トヨタ自動車株式会社



積水ハウス株式会社



阪急阪神ホールディングス株式会社



大阪府



個別質問会の様子 18

NPO法人エコネット近畿

(正式名称: 特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

住所: 〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14サンプラザ南森町401

TEL: 06-6881-1133

FAX: 06-6949-8288

E-mail: jimukyoku@econetkinki.org

URL: <http://econetkinki.org>